

《グラフィア》
学習研究発表会・
わが校の今昔

《木下の言葉》

相互学習の必要 (1)

◆平成の学習法 自分たちで文化を創造する「なかよし」 堀本 三和子 (4)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法

—「相互学習」論—

「自律的学習法」創設期に 小幡 肇 (6)

おける「相互学習」の様子

独自学習・相互学習に初めて取り組む子どもたち 谷岡 義高 (12)

—一年生の一年間を振り返って—

「じゅん」学習における「相互学習」 阪本 一英 (18)

《特別寄稿》

これからの奈良の 宇佐見 香代 (24)

学習学の創造に向けて

実践

自分たちで進める「算数研究(街角の算数)」 日和佐 尚 (30)

—似ているけど同じじゃない? 2つの三角形(五年)—

子どもの創造性が発揮される場面から考える 大野木 位行 (36)

—造形グループ「玉転がし装置」製作から—

自分たちの生活を作る 畔柳 英徳 (42)

なかよし委員会

自律的な国語学習を深める教師の出自 西田 淳 (48)

—物語「ごんぎつね」(四年)—

教師の日記 ブー太が教えてくれたこと 杉澤 学 (54)

◆しつと⑤ 「じゅん」創設(重松鷹泰論文より) 小幡 肇 (56)

—「学習研究」第20号(昭和23年12月号)—

◆けいこ⑤ 読みが深まる相互学習(聞き合) 大野 智子 (58)

◆なかよし⑤ 臨海合宿 西下 旬也 (60)

《実践寄稿》

楽しく読み、言葉から考える国語の学習を目指して 金田 幸子 (62)

—一年「ためぎの系車」(きしなみ作)—

学校だより (68) 会員のひろば (69) あとがき (72)

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



2011. 4 第450号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集